

申込内容

■事業の概要

ハンドベルと箏の2種類の楽器体験ができる全4回の講座。最終回は七夕コンサートを開催し、市民の方々の前で演奏を発表する。なじみのある曲を使用して音と音、人と人とのつながりが感じられる事業です。

■目的

代表者の音楽ボランティア活動経験を生かし、音楽で人と人をつないだり、異世代間の交流をしたりして、地域を活気づけるお手伝いがしたい。

■交付決定額 75,000円

（事業予算 150,220円）



◎活動の様子

6月23日の午前、ハンドベルと箏の講座がとよなか起業・チャレンジセンター（蛍池中町）で行われました。今回は、子どもたちと高齢者の交流の機会となるよう、出演者も幅広い年齢を募集し、小学生から70歳代の10人が集まりました。ハンドベルや箏が初めてという方も多く、短い期間で仕上げるため、スタッフが一人ひとりをサポートして練習していました。練習の合間に参加者に感想を聞いたところ、大人の方からは「子どもたちと一緒に空間で、様子を見ながら参加できるので、それだけでも楽しい」とのことでした。



そして七夕コンサート本番、7月6日。場所は、練習と同じくとよなか起業・チャレンジセンター（蛍池中町）です。今回の特徴は、箏とハンドベルの協演。練習の機会は3回しかありませんでしたが、会場に設置された10面の箏とハンドベルの音色が互いに活かたま見事に溶け合い、会場全体に広がりました。

「普段触れる機会が少ない日本の楽器を経験させたかった。音楽に対して気持ちの強い子が多く、数少ない練習でも形にすることができた」と語る代表の吉田寛子さん。参加した小学生は、「お箏の楽譜がおもしろかった」と、また、70歳代の女性からは「子どもたちと一緒にお箏とハンドベルで交流できて楽しかった」と話していました。

ハンドベルチーム myu-みゆうーは、とよなか夢基金助成から助成を受けて3年目。「事業を重ねることで、認知度が高まってきた」ことを吉田寛子さんは実感しています。今後の活動にも期待が持てます。

◎リンク

[▼平成23年度助成事業『人が！音が！ハンド（手）でつながる音楽事業 小学生のドキドキ、わくわくハンドベル講座』の活動紹介](#)

[▼平成24年度助成事業『ハンドベルで異世代間交流（観客体験型コンサートの開催）』の活動紹介](#)

活動紹介へ
もどる